

令和 8 年 6 月 5 日

本誓寺御門徒各位

本誓寺門徒の会
会長 平野 潤



拝啓

時下、皆様には御清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、令和 8 年 5 月 16 日本誓寺門徒の会（以下当会）定時総会が盛岡市中央公民館にて開催されました。その内容につき当会々員以外の御門徒の皆様にも紹介させていただきますので御一読賜わりたく何卒宜しくお願い申し上げます。

1. 平成 29 年 9 月に吉田信様が真宗大谷派本誓寺第 30 代住職に任命されてから早や 8 年が経過致しました。その間、吉田信様が住職就任時に当時の本誓寺代表役員代務者で仙台教務所長であった清谷真澄氏と取り交わした誓約内容について実行することを当会から繰り返し求めてまいりましたが、御返事がないまま一向に進展せず現在に至っております。このため、これまでの状況を鑑み、この件につき真宗大谷派東北教務所長ならびに本山組織部に実情をお知らせし、本誓寺に対する御指導をお願いすることが決議されました。その根拠は資料 1 を見て頂きたいと思っておりますが、特に大切と思われる点については赤線で示してありますので目を通して頂きたいと思っております。
2. 本誓寺における仏事や墓地の問題、護持費のこと、また、本誓寺本堂再建百周年記念整備事業の寄付など疑問や不安をお持ちの皆様が多数おられると思えます。お役に立つと思われる資料を作成致しましたので参考にして頂ければ幸いです（資料 2）。
3. 当会が本誓寺代表役員・住職に求めている事項のうち、門徒総会の開催と維持会の再興が最も重要な点です。また、本誓寺の運営資金につきましては護持費だけではなく、宗教活動収入も含めた総収入について収支決算書を作成し御門徒に開示することを吉田信様は住職就任時に約束しているのにもかかわらず、護持寺費のみの収支決算書が配布されております。宗教法人本誓寺にどのぐらいの資産があるのか全く不明な状態が続いていることから、適式且つ納得できる対応を願うものです。

東北の名刹である本誓寺の復興を願う気持ちは御門徒の皆様は同じであると思えます。一人でも多くの方々に当会の活動について御理解を賜わり、御協力を頂きますようお願い申し上げます。御賛同頂ける場合には、甚だ恐縮ですが一口 2,000 円の活動協力金を賜わりたくお願い申し上げます。

敬具

【ホームページ】

<https://honseiji-montonokai.jp/>

